

中小
企業

ぐんま

VOL.771
2026.

1

- ▶新年挨拶
- ▶業界・組合リーダーの年頭所感
- ▶新年名刺広告



一年の幸と繁栄を願う「門松」(赤城グリーン(株))



群馬県中小企業団体中央会

●新春トップセミナー・新年会
1月27日（火）
前橋商工会議所会館

●決算税務講習会
3月4日（水）・11日（水）
ピエント高崎／オンライン

●第78回中小企業団体全国大会
11月19日（木）
熊本県熊本市
熊本城ホール

新年挨拶	2
・群馬県中小企業団体中央会会长	大竹 良明
・群馬県知事	山本 一太
・全国中小企業団体中央会会长	森 洋
・株式会社商工組合中央金庫前橋支店支店長	奥野 和之
業界・組合リーダーの年頭所感	6
情報連絡員だより	16
新年名刺広告	18
LAN Local Area News	23
・群馬県醤油味噌工業（協）	
・群馬県石油（協）	
・群馬県漬物工業（協）/ 桐生織物（協）	
インフォメーション	24

めいど in 群馬

（表紙の写真）

一年の幸と繁栄を願う ～門松～

常緑樹として長寿や不老不死の象徴である松や成長が早くまっすぐ伸びることから生命力や繁栄の象徴とされる竹が用いられ、年神様が宿ると言われる「門松」。

年神様は、先が尖ったものを目印に降りてくると言われ、関東では竹を斜めに切る“そぎ切り”を良く目にする。だが、地域や職種によっては、お金が溜まりやすい、こぼれないという意味で、まっすぐに切る“寸胴”とするところもある。そうで、招福の意味を表す“迎え飾り”や門出を祝うとされる“出飾り”と、竹の配置にも違いがあるという。また、竹は長さの比率が7：5：3とされ、松や竹を結わう際に使用する荒縄の本数や巻数は、割り切れないものとするなど、細部や見えない部分にも縁起が担がれている。

「門松はすべて手作り。材料選びから、その切り方、飾り方など1つ1つに配慮し制作している」と教えてくれたのは、赤城グリーン株式会社の荻原健代表取締役。竹の磨き方、荒縄で作る梅飾りや、門松の結わい方などの技術を持つ者が少なくなっていることもあり、少しずつ技術の継承を行っているという。一方で、特にコロナ禍を経て、環境や需要の変化にはもどかしさを感じているというが、毎年のお客様に加え、新規の依頼も入っており、造園業の日々の仕事を通じて、これからもお客様の声に出来る限り応えていきたいと力強く話してくれた。

皆様にも、本年の年神様が降りてまいりますように…。

赤城グリーン株式会社 前橋市小神明町459番地 TEL 027-231-0857

＜前橋市造園事業（協）・ぐんま建設環境事業（協）・（一社）群馬県造園建設業協会所属＞



すべて手作業で作り上げていく



ホームページは
こちらから